

いぶすき検定 第3回上級試験

(平成28年8月7日実施)

解答

部分的な誤字・脱字については、一つにつきマイナス1点としてあります。

1. 指宿の歴史

〔1〕 島津氏
〔2〕 山川郷
〔3〕 今和泉郷
〔4〕 黒岩藤一郎
〔5〕 決湖碑

2. 指宿の文化

〔1〕 正龍寺 若しくは 梅月禅寺
〔2〕 利永琉球傘踊 若しくは 上り口説
〔3〕 トツノモツイ
〔4〕 湊太左衛門
〔5〕 斎藤茂吉

3. 指宿の自然

激しい噴火活動で生まれた神秘の湖 池田湖

〔回答例〕

池田カルデラの噴火では、まず5700年前に①池崎火山灰が噴出して指宿全体を埋め尽くした。次に②黒色の尾下スコリアと③湖面西側から白色の軽石が噴き出した。

その後、④池田火砕流が噴出し、山川の伏目海岸では地下を含めて約100m堆積した。この噴火で地下が空洞になり、陥没してカルデラが形成された。

噴火はまだ続いた。⑤今度は湖の中央付近から火山灰が噴出。湖岸付近の堆積は10m以上にもなった。

⑥最後の噴火は、湖の南側（約4300年前）。マグマ（溶岩）が噴出して鍋島岳が形成され、最初の噴火からおよそ1400年後にようやく火山活動は終息した。

池田湖は今でも活火山。湖の底には直径1km、高さ160mの湖底火山が静かに眠っている。

4. 指宿の産業・経済①

指宿の海上交通

〔回答例〕

山川一鹿児島を結ぶ鹿児島湾内航路が、明治33年から昭和30年代前半まであり、木造船や汽船が運行されていた。

山川一根占航路のフェリー開設は、昭和43年である。

現在、“海の国道”をつないでいるのは「フェリーなんきゅう」だ。長さ34m、幅8.6m、重さ136t、旅客95人、普通乗用車のみなら18台が運搬可能な新造船が、1日4往復、片道約50分で運行中である。

また、指宿と種子島・屋久島の間は、一度に260名乗船できる超高速の水中翼船「トッピー&ロケット」で結ばれている。所要時間は1時間15分である。

5. 指宿の産業・経済②

利右衛門が伝えた唐イモ（サツマイモ）

〔回答例〕

江戸時代の宝永2年（1705年）、南方航路の船員であった前田利右衛門が、琉球から種イモを持ち帰った。まず彼は自分でサツマイモを栽培、繁殖させたのち、栽培法を一軒一軒教え、その普及に努めたとされる。

大隅半島の串良町細山田や、鹿児島市吉野町にも利右衛門の頌徳碑はあって、彼の功績を物語っている。

サツマイモが藩内全域に広まったことで、享保の大飢饉以後薩摩では餓死者はほとんど出なかった。

これを知った第8代将軍徳川吉宗は、サツマイモの栽培を関東中に広めようと決意、青木昆陽をその任に抜擢した。その後、唐いもは全国の救荒作物として、天明・天保の大飢饉において多くの人々の命を救った。